

## ◆ 今週のコメント

- ・ **パラチフス**の報告が1例あります。推定感染地域は、国外(インド)で、推定感染経路は、経口となっています。  
感染症法に基づく届出の対象となった平成11年(4月)以降、平成14年3例、平成16年3例、平成17年1例、平成20年3例、平成22年2例の報告があり、累積報告数は、本例を含め13例となっています。推定感染地域は、インドネシア4例、インド4例、バングラデシュ1例、ネパール1例、ミャンマー1例、国内1例、不明1例で、推定感染経路は、経口が11例、不明が2例となっています。
- ・ **水痘**の定点当たり報告数は1.68(69例)で、前週(1.27, 52例)に比べ増加しています。年齢群別では、3歳が17例(24.6%)と最も多く、次いで2歳が13例(18.8%)、4歳が10例(14.5%)で、0歳～4歳が73.9%を占めています。

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は0.85(58例)で、前週(0.40, 27例)に比べ、倍増しています。詳細をトピックスに掲載しています。なお、平成25年第1週(平成24年12月31日～平成25年1月6日)に定点当たり報告数が1.09となり、流行開始の目安となる1.00を超えました。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 三類: **パラチフス 1例**【1月以降の累積報告数 1例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.85	58
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	10.00	410
	② 水痘	1.68	69
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	23
	④ RSウイルス感染症	0.54	22
	⑤ 突発性発しん	0.34	14
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

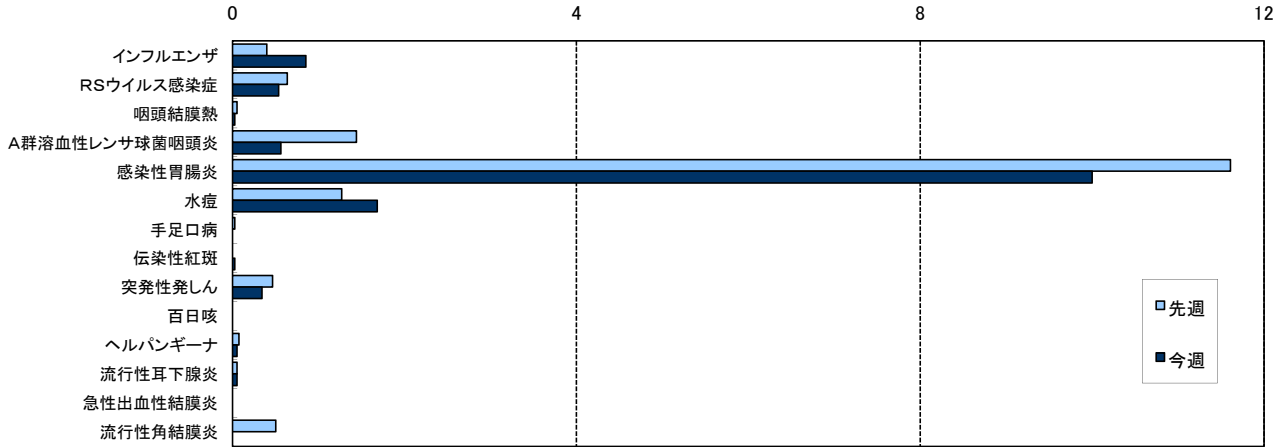
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成25年1月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

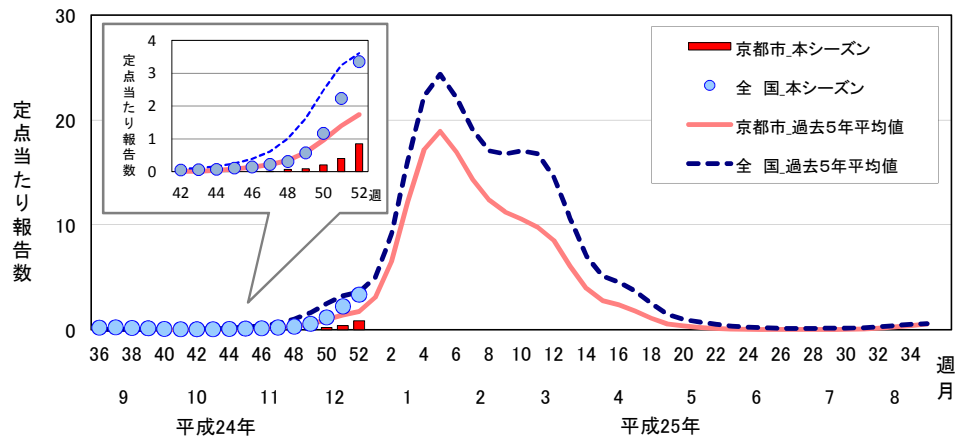
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第52週)と先週(第51週)の定点当たり報告数の比較



## 2 インフルエンザの推移

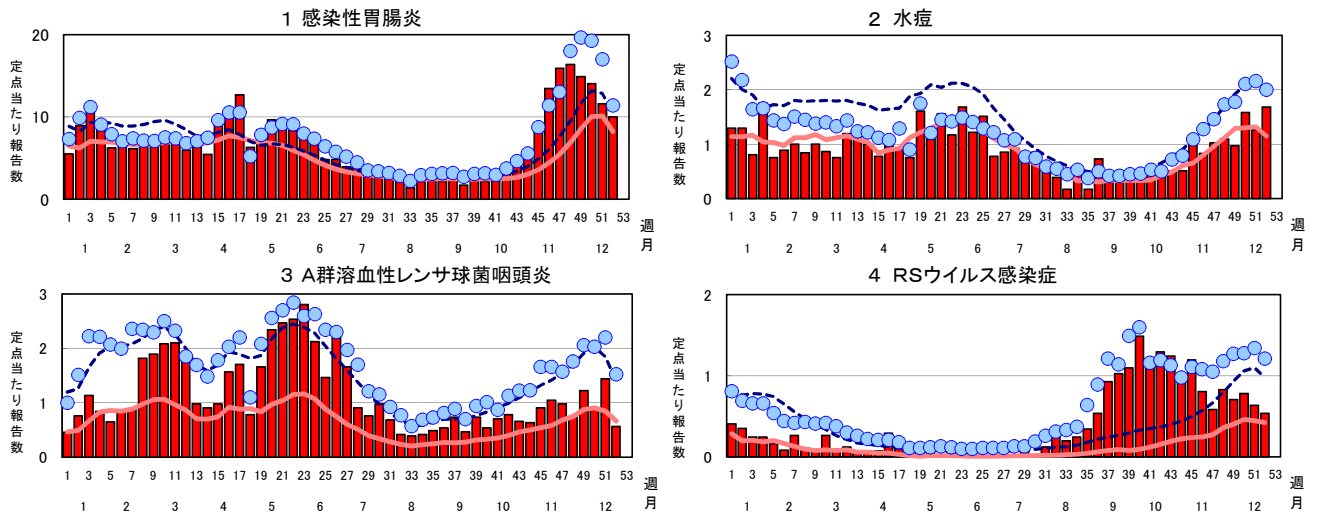
週	報告数(例)
第48週	5
第49週	6
第50週	14
第51週	27
第52週	58
累積報告数 (第36週以降)	114



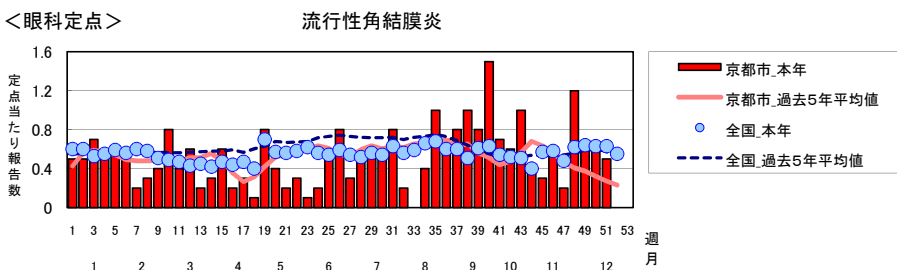
\*平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



# 第52週(12月24日～12月30日)トピックス: <インフルエンザ>

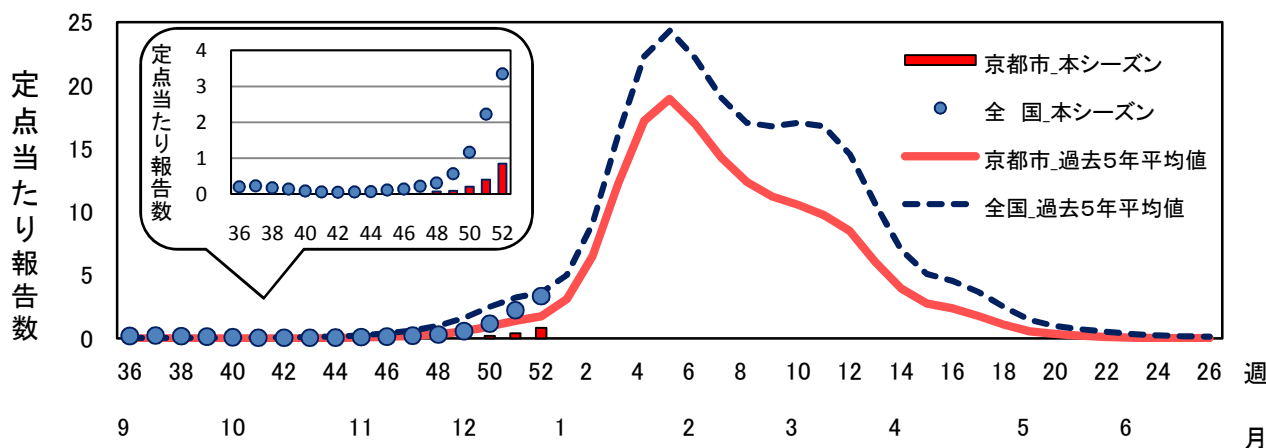
インフルエンザの定点当たり報告数は0.85(58例)で、前週(0.40, 27例)に比べ、倍増しています。

全国の定点当たり報告数は3.35で、前週(2.23)に比べ、約1.5倍に増加しています。都道府県別では、42都道府県で前週より増加しており、38都道府県で定点当たり報告数が流行開始の目安となる1.00を超えています。近畿6府県では滋賀県及び和歌山県で定点当たり報告数が1.00を超えています。

なお、本市では、平成25年第1週(平成24年12月31日～平成25年1月6日)に定点当たり報告数が1.09となり、流行開始の目安となる1.00を超えました。今後の動向にご注意ください。

京都市衛生環境研究所では、今シーズンに、AH1pdm09が1例分離、B型が1例検出されています。全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告状況(1月11日現在)をみると、今シーズンはA(H3)亜型が87.1%を占めています。

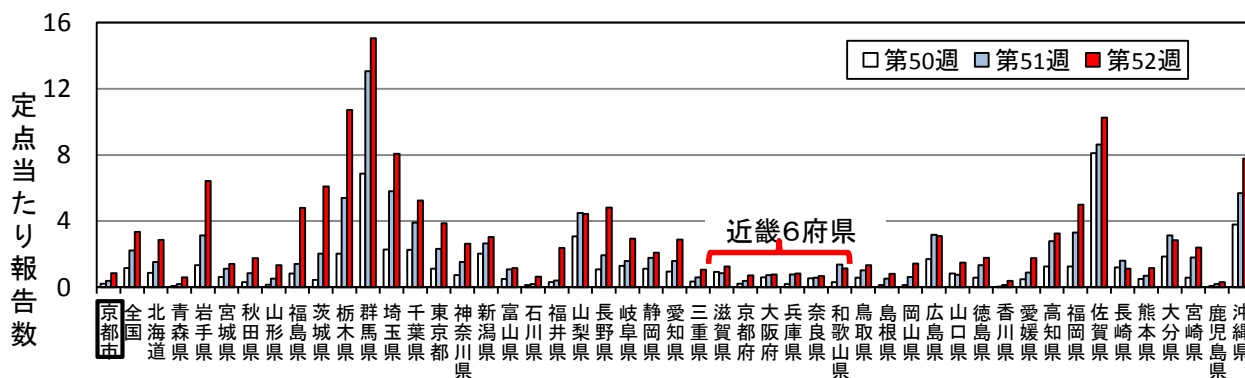
本市及び全国の定点当たり報告数の推移



※平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

(注)先般、2009年に大流行したインフルエンザはインフルエンザ(H1N1)2009とすることが決められています(厚生労働省)。また、その原因ウイルスについてはWHOはA(H1N1)pdm09と記載することを勧めています。国立感染症研究所ではN型の型別判定をしていないときはAH1pdm09と略記しています。

都道府県別定点当たり報告数の推移



全国のインフルエンザウイルス分離・検出数(1月11日現在)

